

OKAYAMA UNIV.

# JUNKO FUKUTAKE HALL



OPENING EVENT GUIDE 11.9[SAT]-11.24[SUN]

OKAYAMA UNIV. JUNKO FUKUTAKE HALL  
オープニングイベントガイド  
主催：Jホールオープニング実行委員会



OKAYAMA UNIV.

それは地域と大学をつなぐ架け橋。

Okayama Univ. Junko Fukutake Hall (愛称 J-Hall)

2013年11月、いよいよ完成。

## INTENTION

岡山大学の顔として、また地域と大学の架け橋として、重要な役割を担うホール。

「地域に根ざし、学内外の人々が親しみと誇りを持てるような大学」。それが岡山大学のあるべき姿のひとつです。Junko Fukutake Hall は、まさにそれを象徴する建物となっています。四角く閉じられた建物ではなく、開かれた開放的な建物にすることで、地域に対しても開かれた大学であるという岡山大学の新しいメッセージを伝え、学生や地域の人々など、誰もが自由に集える施設。人々が気軽に関わりあえる交流の場として、また大学と地域を繋ぐ架け橋として重要な役割を担います。場所は鹿田キャンパス内医学資料・研究棟に隣接する場所に位置し、建物にはホールやコモンズスペース、中庭や屋根下広場が造られています。

全体イメージ

## PLANS

複数の屋根が集まってできる多様な空間、多様な外観。どこからでも入れる集いの場へ。

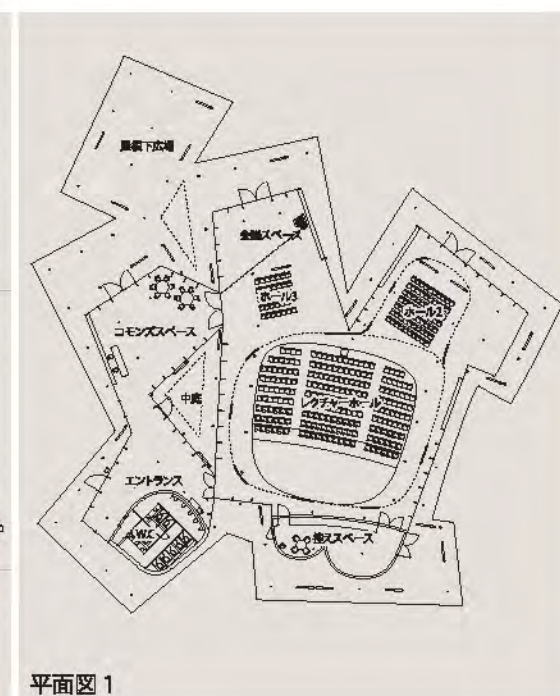
小さな空間が集まってつくられる、ただの長方形でない、集合的な平面。そうすることで建物と外部がばさっと切れてしまうのではなく、両者が混ざり合い、中と外が段階的につながっていくような連続感をつくることで、周辺環境との調和を生み出します。外壁にガラスを使用することで中で行われている活動がキャンパスを歩いている人や、近くの建物の中からも伺うことができ、キャンパス全体へ、そしてまちへと広がっていきます。

また傾斜した屋根は空間のなかに変化をつくり、それらが集合体となって重なり合うことで、高い場所や低い場所、明るく開放的な場所や木陰のように落ち着いた場所など、ワンルーム空間の中に多様な場所をつくり出します。また、複数の屋根の集まりは見る方向によって様々な表情を見せてくれます。

学生や地域の人々など、様々な人がいろいろな方向からこの場所に集まってくることを想定し、どこから来ても迎えられるような建物の配置、形態になっています。

### 設計は「SANAA (サナア)」

妹島和世氏(1956年、茨城県生まれ)、西沢立衛氏(1966年、神奈川県生まれ)の建築家ユニットで、透明感あふれる新しい感覚の空間を追求。作品に金沢21世紀美術館(2004年)、「海の駅おしま」(2006年)などがあり、2004年にベネチア国際建築展金獅子賞、2010年に米プリツカー賞受賞。2012年開館のルーブル美術館分館の設計も担当。





### 交通案内

- 岡山駅東口バスターミナル「5番乗り場」から「2H」系統の岡電バスで「大学病院」構内バス停下車
  - 岡山駅東口バスターミナルから「12」・「22」・「52」・「62」・「92」系統の岡電バスで「大学病院入口」下車
  - 岡山駅タクシー乗り場から タクシーで約5～10分
- ※ホールには専用の駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。



**岡山大学**  
OKAYAMA UNIV.

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等事務部総務課  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5-1  
TEL:086-235-7004 FAX:086-235-7046

# OKAYAMA UNIV. JUNKO FUKUTAKE HALL OPENING EVENT GUIDE



地域の情報発信、交流の場として…。オープンを記念し、この秋 岡山大学 Junko Fukutake Hall (愛称J-Hall) では、様々なイベント・セミナーを開催。最新の文化情報を発信していきます。

2013  
**11.9** 土曜日  
14:00開演  
<13:30開場>

**1** オープニング前夜祭  
渡邊康雄ピアノリサイタル

先着300名様  
入場無料  
<要申し込み>

◎演奏:<ピアノ>渡邊康雄  
◎曲目:ハイドン:ピアノソナタ第60番 C-dur,Hob.XVI/50  
ベートーヴェン:ピアノソナタ 第14番 op.27-2「月光」  
リスト:巡礼の年報第2年「イタリア」より  
婚礼、物思いに沈む人、ペトラルカのソネット第47番  
ラヴェル:マ・メール・ロワ  
ムソルグスキー:展覧会の絵



**渡邊 康雄 (ピアノ) プロフィール**  
◎指揮者・渡邊康雄の長男として1949年東京生まれ、東京藝術大学附属高校作曲科を卒業後、18歳より8年間アメリカのニューイングランド音楽院とジュリアード音楽院にてピアノをセオドア・レトヴィンとサッシャ・ゴルトニコフに師事。◎ボストン留学中の1972年に東京文化会館にてブラームスのピアノ協奏曲第2番を父子共演してピアニストとしてのデビューを大成功させ、以後、NHK交響楽団をはじめ世界各国にてピアニストとして幅広い演奏活動を行っている。◎1992年より指揮者としても活躍。演奏活動は多岐にわたる。◎現在、くらしき作陽大学大学院教授及び評議員、桐朋学園大学講師、若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール審査員。

2013  
**11.14** 木曜日  
14:00~16:00

**6** 市民公開講座  
乳がんと前立腺がんのお話  
—あなたの大事な人のために—

先着400名様  
入場無料  
<要申し込み>

◎概要:乳がんは女性に一番多いがんであり、前立腺がんは男性のがんで、いま急増しています。  
あなたの身近なそして大事な人がそのようながんにならないためには、また早期に発見して早期に治療するためには、そしてがんになったときには、それぞれのがんの専門家が最新の情報を交えてお話いたします。  
◎講師  
土井原博義/岡山大学病院 乳腺・内分泌外科 教授  
那須保友/岡山大学病院 新医療研究開発センター (泌尿器科) 教授



2013  
**11.10** 日曜日  
18:00開演  
<17:30開場>

**2** 「甦った文化遺産～  
レオニード・クロイツァーの  
弾いたピアノ～」(旭川荘提供)

先着300名様  
入場無料  
<要申し込み>



1952年、ヤマハがドイツのペシシュタイン社に技術を学び、創り上げた日本で最も初期のコンサートピアノが社会福祉法人旭川荘で修復され、この度披露・演奏されます。このピアノは、当初天満屋で保管されていたが、旭川荘に寄贈されて今に至ります。この度のオープンを記念して、この貴重な文化遺産の価値と由来をご披露いたします。

◎演奏:<ピアノ>川崎翔子  
◎曲目:ベートーヴェン:ソナタ第7番 作品10-3ニ長調  
ラフマニノフ:ソナタ第2番 作品36 変ロ短調 (1931年版)  
リスト:ソナタ 短調

**川崎 翔子 (ピアノ) プロフィール**  
◎東京都出身。都立上野高等学校(普通科)を経て東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業、同声会賞受賞。同大学院修士課程を首席で修了、クロイツァー賞受賞。◎2006年 第5回安川加壽子記念コンクール第1位、併せて安川加壽子音楽賞受賞。/2007年 第76回日本音楽コンクール入賞。/2010年 ジュネーブ国際コンクールにおいてディプロマ取得/2011年 ポツリーニ国際ピアノコンクール第1位◎その他、国内外の数々のコンクールにおいて優勝し、ソロリサイタルの開催、オーケストラとの共演を行っている。現在、ミュンヘン国立音楽大学にて研鑽を積む。

2013  
**11.17** 日曜日  
14:00開演  
<13:30開場>

**7** 完成記念特別演奏会  
「ベートーヴェン第九演奏会」

先着300名様  
入場無料  
<要申し込み>



岡山フィルハーモニック管弦楽団による壮大なおけと美しい声で、オープニングを飾ります。

◎演奏:  
<指揮> 十東尚宏  
<ソリスト>  
ソプラノ 高橋昌子/アルト 脇本恵子  
テノール 田中誠/バリトン 戸山俊樹  
<合唱> 岡山パッサハカンタータ協会  
<管弦楽> 岡山フィルハーモニック管弦楽団  
◎曲目:ベートーヴェン交響曲第9番<合唱付>

**十東 尚宏 (指揮) プロフィール**  
◎東京出身。桐朋学園大学指揮科及び研究科修了。故森正、小澤征徳、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。在学中の1982年に「第6回東京国際指揮者コンクール(旧民音指揮者コンクール)」第一位入賞。同年、タンゲルウッド音楽院にフェロシップ・コンダクターとして招かれ、クーセヴィツキー賞指揮大賞を受賞。◎1984年、ボストン交響楽団に副指揮者として招かれ研鑽を積む。日本では新日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会でデビュー。同年ベルリンに留学、その間も再びタンゲルウッド音楽院に招かれバーンスタイン、プレヴィン、スラットキン各氏に師事。◎1989年NHK交響楽団定期演奏会を指揮、その後日本の主要オーケストラに数多く客演指揮を重ね、海外でも活躍中。

2013  
**11.11** 月曜日  
17:00~19:00

**3** 岡山大学研究シーズ発表会  
(産学官連携推進)

先着400名様  
入場無料  
<要申し込み>

◎題目:「岡山大学研究推進産学官連携の展望」◎概要:岡山大学は平成25年度「研究大学強化促進事業」の支援対象機関に選出され、研究大学として展開すると同時に産学官連携により広く社会にその成果を還元しています。本セッションではアカデミアから事業化へのシームレスな岡山大学での展開を概説します。

◎演者  
山本進一:研究担当理事・副学長「研究大学「岡山大学」」  
渡邊裕:研究推進産学官連携機構副機構長「岡山大学における知財戦略」  
古矢修一:URA「URA活動の実際」  
成瀬憲治:医歯薬学総合研究科教授「研究→知財→製品化」  
メニコン:「事業化への展開」



2013  
**11.24** 日曜日  
14:00開演  
<13:30開場>

**8** 植村理一  
ヴィオラリサイタル

先着300名様  
入場無料  
<要申し込み>

◎演奏:<ヴィオラ>植村理一 <ピアノ>アルバート ロト  
◎曲目:G.エネスコ:演奏会用小品  
R.シューマン:おとぎ話 作品113  
P.ビンデミット:ソナタ 作品11-4  
N.ロータ:ソナタ 第1番 長調  
J.ブラームス:ソナタ 第1番 作品120-1

**植村 理一 (ヴィオラ) プロフィール**  
◎ニューヨーク州シラキュース市生まれ。東京藝術大学音楽学部在学中に、Gee国際奨学金コンクールに優勝、米国シンシナティ州州立大学音楽院に留学。数々のオーナーズ賞を受賞し首席卒業。1993年アーティスト・ディプロマを得る。◎その後、アメリカ、ヨーロッパ各国の著名なカルテットやオーケストラと共演し、絶賛される。帰国後も指揮者としてデビューする等さまざまな活躍を続けている。

**アルバート ロト (ピアノ) プロフィール**  
◎ポーランド人とウクライナ人を父母に1946年ニューヨーク生まれ。◎1965年モントリオール国際コンクール優勝。1966年ブゾーニ国際コンクール優勝。/1972年「アイヴズの作品と哲学について」の研究で博士号を授けられた。◎マンハッタン音楽大学教授



2013  
**11.12** 火曜日  
18:30~20:30  
<18:00開場>

**4** 宵のサロン 第一回  
「生命—三つの眼差し」  
映像インスタレーションと講演  
主催:福武純子

先着300名様  
入場無料  
<要申し込み>



◎概要:  
生命とは何か。  
医学、哲学、芸術学、「生きること」をそれぞれの視点で語る三つの小講演と、新生Jホールに現出する映像インスタレーション。  
宵のサロンは、分野を超え、人々の交流する知の集いです。  
◎案内役:松井秀樹(岡山大学教授)  
◎講演:「水と腎臓」横野博史(岡山大学病院長 岡山大学教授)  
「いづかたより来たりて、いづかたへ」北岡武司(岡山大学教授)  
「花にのるひと」須賀みほ(東京藝術大学准教授)

2013  
**11.13** 水曜日  
18:30~20:30

**5** 第2回 キャンパス・アジア・  
オータムセミナー



◎概要:キャンパス・アジア(CA)医歯薬系セミナーは、日中韓の三国間で共通の医学・歯学・薬学に関わる課題をテーマに設定し、シンポジウムを開催・討議を行っています。それらを通して、交流を深めるとともに若手医療人の人材育成を図っていきます。  
今回の第2回オータムセミナーは「アジアにおけるロボット支援手術最前線」をテーマにアジアにおけるロボット手術と腹腔鏡手術の現況について討議します。

問い合わせ:キャンパスアジア事務局  
Tel.251-8532 Fax.252-5022



2014  
**1.26** 日曜日  
14:00開演  
<13:30開場>

**9** ニューイヤーコンサート  
久保陽子  
ヴァイオリンリサイタル

予告  
先着300名様  
入場無料  
<要申し込み>



～ 珠玉の名曲集 ～

◎演奏:<ヴァイオリン>久保陽子 <ピアノ>荒木 渉  
◎曲目:サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン/マスネ:タイスの瞑想曲  
シューベルト:アヴェマリア/サン・サーンス:序奏と rond カプリツィオーン

**久保陽子 Yoko KUBO (ヴァイオリン) プロフィール**  
◎3歳より父の手ほどきを受ける。1962年桐朋女子高等学校音楽科卒業、同年チャイコフスキー国際コンクール第3位入賞。◎1963年よりフランス政府給費留学生としてパリに留学。◎1966年マルセイユ音楽院ディプロマコースを卒業、同時に名誉市民のメダルを授けられる。◎1964年/バグニニ国際コンクール、1965年ロンドン国際コンクールにて第2位。◎1967年からシグティに師事。その後クルチ国際コンクール第1位。◎ソリストとして世界的な演奏活動をする他、室内楽者としても活躍中。

## 入場ご希望者募集のご案内

- お申し込み方法: A: 往復はがき B: メール(携帯メールを含む)のいずれかにて、下記をご記入の上、お申し込みください。  
①入場ご希望のイベントの番号(◇～◇) & イベント名 ②〒番号・住所・氏名・年齢・性別・電話番号  
\*返信はがきの表面には、お申込者の住所、氏名をご記入ください。
- お申し込み先: 岡山大学 Jホール オープニングイベント係  
A: 往復はがき→〒700-8558(岡山大学医学部) B: メール→j-hall@adm.okayama-u.ac.jp
- お申し込み締切: 10月20日(日) 消印有効
- 入場券の発行: 先着順に各イベント開催日の10日前までに通知いたします。以下を当日、会場入口にてご提示ください。  
A: 往復はがき→返信はがき  
B: メール→返信メール(PCメール:各自でプリントアウトをお願いします。携帯メール:画面を提示ください。)  
\*1回のお申し込みにつき、1名様、1イベントでお願いいたします。 \*音楽イベントについては、未就学児の入場はご遠慮ください。  
\*ホール内の、飲食は禁止させていただきます。